

「北京+30」レビューについて

CSW69の予習？

紙谷雅子

「第4回世界女性会議」は、1995年、北京で開催

国連は、4回、

世界女性会議 World Conferene on Womenを組織

1975年、メキシコ・シテイ

1980年、コペンハーゲン

1985年、ナイロビ

1995年、北京

その後は、「世界会議」という形態を取らず

5年ごとに、

北京宣言と行動綱領に照らした進捗状況の検討
全ての女性の平等を実現するための目標の設定と達成

2025年3月に予定されているCSW69の

主要なテーマが「北京+30」レビュー

北京宣言は38項目

最初の7項目（1-7）は会議に参加した各国の共通認識「全ての女性の平等，開発および平和の推進」のため，行動すると合意

次の5項目（8-12）は平等な権利，人間の尊厳，人権と基本的自由の不可侵，平等・開発・平和の達成，女性のエンパワーメントなど，国連憲章，世界人権宣言その他の国際人権文書に対する誓約を確認

北京宣言は38項目

次の9項目(13-21)は、女性の権利は人権であり、女性のエンパワーメント、意思決定過程への参加、権力へのアクセスなど社会への平等と完全な参加に対する政府、国際社会、市民社会の行動の必要を確信

次の13項目(22-34)は、20世紀末までに達成すべき目標を明らかにし、

最後の4項目(35-38)で、経済的資源への平等なアクセス、公平な社会開発、そのための国際協力と援助、そして、国際機関、市民社会などの協力のもと、政府がこれらを実施するという決意

が述べられている。

国連女性の地位委員会は、1996年以降、つまり、CSW40から、第4回世界女性会議で採択された行動綱領をいかに実現するかを大きな課題として、会期ごとに合意結論という形で、国際機関、各国政府、そして市民社会の間で議論をし、具体的な目標を設定して、北京宣言を現実化するため努力してきた。

例えば・・・CSWの合意結論は、テーマを設定し、専門家の実質的な議論を重ねた上で、国際機関との対話を積み重ねることで、行動に結びつく政策提言として、経済社会理事会ECOSOCに提出され、最終的には国連総会において国連の方針として採択されることを、最初から想定していた。

1996年の文書には、国連の業務における「ジェンダー視点の主流化 mainstreaming gender perspective」といった言葉があり、すでに、女性に対して異なる／より深刻な影響を及ぼす問題や要因を探し出すことがプロジェクトの実施において重要であると指摘されている。

そして、1996年の合意結論が「女性とメディア」と「養育と介護：仕事と家族の責任を共に負担」に着目しているのを見ると、世の中それほど変わっていないという気がする。（変わらないでいい・はずがないのに）

本題

「日本はこの5年間，何をしてきたのか？」

2019年 女性活躍（積極的な社会参画）加速＝就労の推進

労働の質は問題ではない？

人々が等しく責任を負担イメージが，まだ，乏しい？

女性に対する「困難」と暴力の根底にあるのは？

2020年 女性活躍（積極的な社会参画）を妨げるコロナウィルス

配偶者やパートナーからの暴力が顕在化？

不安定な労働の「不安定さ」が顕著に？

女性が直面する「困難」と暴力・・・社会が不安定になると出現

強い立場にある人たちが・・・優しくない社会が露呈？

仕事と育児・介護等とを両立できる環境整備

（北京宣言は）人々が等しく責任を負担するイメージ

地域の実情という言い方で違いを強調？ 許容？

2021年 コロナ対策の中心に女性を！

女性のデジタル人材育成・ひとり親の職業訓練

女性は労働市場の過不足を都合よく調整？

デジタル人材の不足は女性の問題？

ひとり親は「これまで働いていない」とでもいうの？

女性の登用目標達成に向けて

！？！ 数値目標の意味 ！？！

女性が尊厳と誇りを持って生きる社会

女性が直面する「困難」と暴力は「恒常的問題？」

「日本社会の『どこが・何が』問題？」

(大正時代からの) 性犯罪に関する改正を目指す

不妊は医療上は女性だけの問題ではないのに

・・・女性問題で取り上げるの？

2022年 骨太の方針

女性の経済的自立＝やっぱり（非正規で）働かせたい？

本当は・・・「女性は納税者になって、積極的に発言しよう！」

女性が尊厳と誇りを持って生きる社会

人を人として評価できないから？ 「肩書き」が重要？

瞬間的にしか「セクシュアリティ」を考えていないから？

子どもがいると、

パート・タイムの父とフル・タイムの母になるのは、

日本の現象？

「家庭」や「地域社会」に男性がいない？

2023年 骨太の方針

(まず、最初に) **女性活躍と経済成長の好循環の実現**

やっぱり、働かせることしか、考えていないらしい
しかも、数値だけを気にするのは『なぜ?』

女性の所得向上と経済的自立

これは発言力とセット

施策は「女性のため」ではなく、ジェンダー・ニュートラルに実施

女性が尊厳と誇りを持って生きる社会の実現

暴力、性犯罪

そして・・・

(社会が期待する人間像に合致しない生き方の結果、とても生きづらいという) 困難

その人を見ないで、期待される人間像との乖離を気にするから？

「見える化」「数値目標」という言葉が意味するのは？

これまでも、指導的な立場で活躍した女性たちが
本当に少なかったわけではない

では・・・

典型的ではないと社会が考えてきた選択をした女性は

透明人間か？

これからの政府の施策は 「誰も取り残さない」

1. みんなが同じ意見だとしたら、それは（進化論的に見ても）「失敗」
2. 女性が尊厳と誇りを持ってない社会では、女性でない人も尊厳と誇りを持ってないのではないか？ これはジェンダー主流化。

暴力も、性犯罪も、「女性だけ」が被害を受けているわけではなく、被害を受けた人も、害悪をもたらした人も、社会防衛のため、本当は「手当」が必要

3. 社会において、さまざまな指標を活用し、それぞれの指標に関する「弱者」をサポートする政策が重要

本当に必要なのは、問題に取り組む専門家に対して、不安定なパート・タイムのポストを提供し、わずかな予算で頭数を揃えるのではなく、相応しい待遇で処遇すること

5年後も，同じ議論をしなくて良いように

聞く会ですが・・・

「聞く」だけでなく，「考えて」，「自分の一番言いたいこと」について，他の人にも伝えましょう！